

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

ICTを効果的に活用した授業改善の推進

行田市教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

1. ICT活用推進研修会の実施

ICTを効果的に活用し、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した授業改善を図ることが、児童生徒の学力向上につながると考え、ICT活用推進研修会を実施した。各小・中学校の情報教育担当者や校内研修担当者を参加対象とし、授業支援ソフトの導入先であるベネッセコーポレーションの担当者と市教委の担当指導主事が、演習を交えた講義を行った。基本的な操作だけでなく、模擬授業形式での活用事例の紹介等も行い、日頃の授業改善につながる内容となった。後日、市内の全小・中学校においてICT支援員や研修会参加者が中心となって、校内研修を実施し、全教職員が研修内容を共有できるようにした。

本研修会の実施後に行った調査により、授業におけるICTの活用率が向上し、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した授業改善が進められているという成果が見られた。

2. ICT活用事例集の作成

ICT活用推進研修会での内容を受け、各校の効果的な取組を共有することを目的とした「ICT活用事例集」の作成に取り組んでいる。各校の学力向上推進担当者を委員とする行田市学力向上推進委員会を組織し、ICTを活用した授業事例を持ち寄り、効果的な活用方法について協議を行った。協議では、ベネッセコーポレーションの担当者にも参加していただき、各校の取組に対する助言や先進事例等の紹介をしていただいた。授業事例は、市のMicrosoft Teams上で共有できるようにしており、他校の効果的な事例を本校の授業改善に生かせるようにした。

次年度以降も新たな事例を共有していく予定であり、ICTの効果的な活用について継続的に研究を進めていく。



3. 小・中合同授業研究会の実施

小・中学校9年間を見通した教育の充実や教員の授業力向上を目指し、小・中合同授業研究会を実施した。各小・中学校から1名以上の教員が参加し、今年度は小学校の算数科、中学校の英語科において授業研究会を行った。その際、市教委の担当者が事前の指導案検討から参加し、①ICTを活用した場面を設定すること ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」に取り組む場面を設定することを視点として、授業づくりに向けた指導・助言を行った。これらの視点は、研究協議の柱としても扱い、参加した教員が、ICTの活用や「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた授業改善についての理解が深められるようにした。



4. 各学校における実践例

実践例1

- 教科名 算数科（小学校第3学年）
- 単元名 「かけ算の筆算を考えよう」
- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた工夫

本時の問題と課題の確認、見通しの時間を短くし、自力解決の時間を多く設定できるようにした。自力解決では、既習内容を確認しながら個人で問題を解いたり、必要に応じてペアで相談をしたりと、各自の実態に合った方法で学習に取り組めるようにし、自身のペースで学習が進められるようにした。自力解決が難しい児童は教師のもとに集め、課題解決に向けた助言を行い、スモールステップで学習に取り組めるように工夫をした。練り上げの場面では、ICTを活用し、複数の解法をモニターに提示しながら、児童一人一人の理解が深められるようにした。適用問題では、AIドリルを活用することで、児童が意欲的に問題に取り組んでいた。

実態に応じた手立てを講じることで、一人一人の学習内容の確実な理解を促す。



実践例2

- 教科名 社会科（小学校第6学年）
- 単元名 「天皇中心の国づくり」
- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた工夫

児童からの大仏づくりに関する疑問をもとに、学習課題を設定し、その課題解決に向けた学習方法を児童一人一人が選択できるようにした。教科書や資料集、インターネット等を各自が選択するだけでなく、個人で取り組むのか、少人数グループで取り組むのかといった学習形態についても選択をすることで、自身に合った方法で学習に取り組むことができた。調べた内容は、Microsoftのホワイトボードに入力をし、分類・整理をしながら共通する内容について確認をした。その際、テキストマイニングを活用することで、重複しているキーワードを可視化することができ、話し合いを焦点化することができた。ホワイトボードは単元を通して使用しており、家庭学習等で学習内容を復習する際にも活用できるようにした。

調べた内容をホワイトボードで共有することで、発表の時間を省き、話し合いの時間を確保する。



実践例3

- 教科名 英語科（中学校第1学年）
- 単元名 「Unit5 This is Our School」
- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた工夫

外国の学校文化を紹介する活動において、生徒が作成した英文をオクリンクで教員に送り、個別に添削をしてフィードバックを行った。その後のスピーチの練習では、個人での練習や少人数グループでの練習を選択できるようにした。その際、デジタル教科書で発音を確認したり、スピーチの様子を動画撮影し、確認をしたりするようにすることで、自身の課題に応じた効果的な学習を進めることができた。孤立した学びを防ぐために、少人数グループでスピーチの確認をしたり、教員やALTに対してプレゼン発表をしたりする時間を設定した。

ICTを効果的に活用し、一人一人に合った学習の支援を行う。



教員の授業力向上のためには、充実した研修機会を保障するとともに、よい授業事例を共有することが大切だと考える。引き続き「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた授業改善を図り、児童生徒一人一人の学力向上につなげていく。

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

粘り強く、主体的に学ぶ児童生徒の育成に向けて

加須市教育委員会・加須市立大越小学校・加須市立騎西小学校

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

事例1 加須市立大越小学校の取組

- 教科名 算数
- 身に付けたい力 実生活において問題解決する力、自ら学びを獲得する「粘り強さ」
- 取組の工夫
 - ① 探究的な学びを支える「単元を貫く探究課題の設定」
 - ② 個別最適な学びを支える「発達段階に応じた学習過程の工夫」
 - ③ 協働的な学びを支える「ICT機器の効果的な活用」

個別最適な学び

「誰と学ぶか（人）」「どれで学ぶか（物）」「どこで学ぶか（場所）」「いつ学ぶか（時間）」



<低学年>



<中学年>



<高学年>

自己選択・自己決定の場面



一斉授業（単位時間）

単元内自由進度学習

探究的な学び

〈パフォーマンス課題〉
「単元を貫く探究課題」

「清涼扇子コンテスト！」
どの角度の扇子が夏を乗り越えるのに最適だろう。
4年「角の大きさ」



現実の世界

日常生活や社会の問題を数理的に捉えて数学でどう解決するか問題を設定する。

数学の世界

数学の問題を統合的・発展的に考えて問題解決をする。

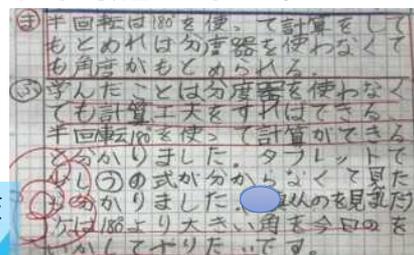
単元を通して交互に繰り返す

課題設定 情報収集

自立した学習者

まとめ・表現整理分析

〈ふりかえり〉
本時の自己の学びを捉え直し、次時の課題につなげる。



協働的な学び

ICT機器の活用で、自己・他者の進捗状況を確実に把握する。



他者参照（必要な時に、必要なものを、必要な分だけ）

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を意識した授業改善
羽生市教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

事例1

羽生市立須影小学校の実践

○学年 3学年

○教科名 算数

○単元名 「数をよく見て暗算で計算しよう」

○身に付けさせたい力 「他者との関わりの中で、自ら考えを深めていく力」

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実へ向けた工夫

- ・下図の右側（個別型授業）で実施
- ・自力解決場面で、①一人で ②友達と ③先生との3つから自分で選択できるようにする。その際、思考カード（3色）を使って、自分の考えを整理しながら友達との学び合いを深める。
- ・課題を解決できた児童から、他の問題に取り組み、その後全体で共有する。
- ・話し合いにキーワード（今回は、分ける・だいたい）を設ける。
- ・学習アプリ「オクリンク」に提出させ、複数の意見を大型テレビに写し、比較検討する。

〈算数授業の流れ〉

〈思考カード例〉



自力解決の場面	話し合いの場面
<p>緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で 	<p>緑</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆説明できる ★自信あり
<p>黄色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と 	<p>黄色</p> <ul style="list-style-type: none"> ★少し自信あり
<p>赤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生と 	<p>赤</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆分からない ★心配

○成果と課題

【成果】

- ・話し合いにキーワードを設けたことで、学び合いが活発に行われた。
- ・課題に対して、自分でやり方を選択（思考カード）させたことで、個別最適な学習ができた。
- ・課題が解けた児童には、チャレンジ問題を行わせたことで、個々の学習にあったペースで進めることができた。
- ・自力解決を友達と実施できるようにしたことで、自力解決の場面でも協働的な学びが行えた。
- ・個別型学習では、個別最適な学びと協働的な学びを一体として行うことができた。
- ・オクリンクを使用し、複数の意見を比較したことで、思考が整理され、考えが深まった。

【課題】

- ・教師が赤色を選択した児童と課題を解決すると、机間指導が十分に行えず、全体の把握をすることが難しかった。

事例2

羽生市立井泉小学校の実践

取組1

- 学年 5学年
- 教科名 社会科
- 単元名 気候の特色（温かい土地と寒い土地のくらし）
- 身に付けたい力

住んでいる地域の様子を比較しながら、実際に住んでいる人たちの話を聞き、オクリンクのまとめに活かす。

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実へ向けた工夫

- ・学習の目的（ゴール）は、ループリック評価を用いて提示をした。
- ・単元のあたたかい土地（沖縄）と寒い土地（北海道）は、多くの資料が存在するが、児童の実生活に結びつきが薄く感じた。そこで、実際に生活している方とオンライン（Zoom）で繋ぎ、話を聞いたり、質問したりすることを行った。
- ・オンライン学習は時数を考え、学年で一斉に行った。事前に個別で調べ学習の時間を確保し、選択させた。
- ・オンライン学習後は、Chrome Book を用いてオクリンクを進めた。

用意したもの Chrome Book プリント Zoom ループリック評価

	D (1)	C (2)	B (3)	A (4)
1. レイアウト (形式)	文章だけある。 写真や絵ばかりで、文章が少ない。	文章や絵・図はあるが、大出しや小出しがない。	文章や絵・図、大出しや小出しがあるが、小出しがわかりにくい。	・文章や絵・図、大出しと小出しの使い分けがある。 ・記事に合わせて分かのやくが設けられている。
2. 読んでいる人への気づき	① ~のつら、②つを工夫している。	① ~のつら、③つを工夫している。	① ~のつら、⑤つを工夫している。	読者のことを考えて、①~をよく工夫している。② 漢字 ③ふりがな ④絵・図 ⑤字の大きさ ⑥言葉遣い ⑦字の置き
3. 内容	教科書のこだけ書かれている。	教科書や資料集、ノートのこと書かれている。	教科書や資料集、ノートのこと、自分の感想が書かれている。	・教科書や資料集の情報だけでなく、インターネットや本でリサーチしたことも書かれている。参考にした本やウェブサイトを書いている。 ・引用や書誌情報も加えて、自分の感想や感想、考えを交えて書いている。

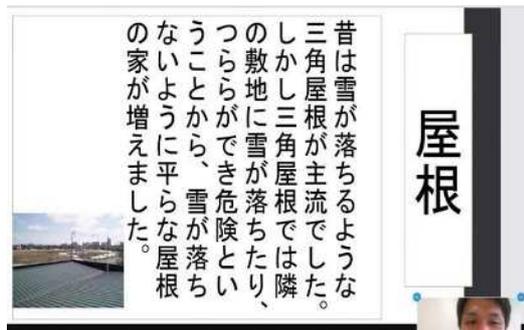


事前にループリック評価を提示した。

オンラインはZoomを使用した。



終盤には質問を児童が行った。



PowerPoint 資料を提示して頂いた。

○成果や課題

- 事前にループリック評価を提示したことにより、意識して学習に取り組み、選択ができた。
- オクリンクで作成したカードづくりも時間通りに行うことができた。
- △オンラインでの活動となるため、事前の調整が必要である。

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

春日部市教育委員会

1 授業の充実 ～児童生徒全員が「できた」を味わおう～

実践1

個に応じた指導と協働的な学び

学年	小学校 第5学年	教科等	国語
単元名	目的や条件に応じて話し合おう		
個別最適な学びと協働的な学びに向けた工夫			
身につかせたい力	・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること		
工夫	①テーマの工夫 「1年生との交流会でみんなで楽しく過ごすため」の活動を話し合う。 ②一人一人が自由に考える時間の確保とワークシートの活用（個に応じた指導の充実）。 ③グループで発表 ⇒思考ツール（座標軸）の活用。班の中で意見をあわせ新たな考えを生み出す。 ④タブレットで話し合いの様子を録画する。自分たちの話し合い方を客観的に振り返る。 ⑤学びを活かす体験をする。→実際に他学年と交流することで、「できた」を味わう。		



自力解決



伝えあい



学びあい



「できた」を味わう

実践2

ICTを活用した他校の子どもたちとの学び

学年	小学校 第5学年	教科等	総合的な学習の時間
単元名	おいしいお米を作ろう！～稲作を通じた、980キロの遠隔地交流～		
個別最適な学びと協働的な学びに向けた工夫			
身につかせたい力	・お米づくりを通して、自然の恩恵への感謝の思いを育む ・他県の児童との交流を通し、文化の違いや互いの良さを学び、よりよい人間関係を形成していく		
工夫	①学校の敷地内に田んぼを作り、田植えや稲刈りなど一連の稲作を体験する学習を行った。 ⇒ 学年の児童全員で協力して取り組み、作る大変さや喜び、協力する楽しさを学ぶ。 ②お米作りを実施している他県の小学校とオンラインでの交流。意見交換や情報交換を行った。 ⇒ 田植えの感想や、苦労した点、工夫した点などを意見交換し、共感的理解が図れた。 互いの地域の良さや特産品等の紹介を行うなど、相互理解を図った。 ③教科横断的な学習として、社会の学習内容とも関連付け、米作りについての学習理解を深めた。		

田んぼ作り・田植え



鹿児島市の小学校との交流

収穫・稲刈り



2 教師の指導力向上 ～よりよい授業を目指して～

事例1

春日部市教育研究員協議会（情報部会）による「春日部モデル」の作成

春日部市では、児童生徒に身につけさせたい情報活用能力を体系的にまとめた「春日部モデル」の作成を進めている。

分類	低学年	小学高学年		高学年	中学校
		中学年	高学年		
A: PCの操作 コンピュータやインターネットの活用や検索などの基本的な操作技能を身に付けるための基礎的な知識・技能	A1: PCの操作	<input type="checkbox"/> コンピュータの起動や終了 <input type="checkbox"/> 電子ファイルの呼び出しや保存 <input type="checkbox"/> 写真撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集、ペイント系アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> キーボードなどによる文字の正しい入力方法 <input type="checkbox"/> 電子ファイルのフォルダ管理 <input type="checkbox"/> 動画撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集系アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> キーボードなどによる十分な正確な文字入力 <input type="checkbox"/> 電子ファイルのフォルダ管理 <input type="checkbox"/> 動画撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集系アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> キーボードなどによる十分な正確な文字入力 <input type="checkbox"/> 電子ファイルのフォルダ管理 <input type="checkbox"/> 動画撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集系アプリケーションの操作
	A2: 記録と編集	<input type="checkbox"/> 写真撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集、ペイント系アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> 動画撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集系アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> キーボードなどによる十分な正確な文字入力 <input type="checkbox"/> 電子ファイルのフォルダ管理 <input type="checkbox"/> 動画撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集系アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> キーボードなどによる十分な正確な文字入力 <input type="checkbox"/> 電子ファイルのフォルダ管理 <input type="checkbox"/> 動画撮影 <input type="checkbox"/> 録音編集系アプリケーションの操作
	A3: 情報の収集	<input type="checkbox"/> 身近なところから様々な情報を収集する方法（調査票・インタビュー観察等）	<input type="checkbox"/> インターネット上の情報の閲覧・検索 <input type="checkbox"/> 調査や資料集による基本的な情報の収集の方法（質問・インタビュー等）	<input type="checkbox"/> 電子的な情報の収集（AND、ORなどの論理演算を用いた検索） <input type="checkbox"/> 調査や資料集による基本的な情報の収集の方法（質問・インタビュー等）	<input type="checkbox"/> 情報の収集方法 <input type="checkbox"/> 調査や資料集による基本的な情報の収集の方法（質問・インタビュー等）
	A4: 口頭発表等	<input type="checkbox"/> 相手に伝わるような発表の方法	<input type="checkbox"/> 相手や目的を考慮した発表の方法	<input type="checkbox"/> 聞き手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーション方法	<input type="checkbox"/> 情報の収集方法 <input type="checkbox"/> 調査や資料集による基本的な情報の収集の方法（質問・インタビュー等）
B: 課題解決 課題を解決し、新たな課題を生み出し、問題解決・改善に向けて取り組むための基礎的な知識・技能を身に付けるための基礎的な知識・技能	B1: 課題の設定・計画立案	<input type="checkbox"/> 課題や活動から感じ取った課題や疑問から課題を設定・設定する <input type="checkbox"/> 決められた計画にそって課題を設定する	<input type="checkbox"/> 収集した情報から課題を設定・設定する <input type="checkbox"/> 目的を明確にし、課題解決の手段・方法を立てる	<input type="checkbox"/> 地域や社会の事象から課題を設定・設定する <input type="checkbox"/> 収集した情報から課題を設定・設定する <input type="checkbox"/> 目的を明確にし、課題解決の手段・方法を立てる	<input type="checkbox"/> 課題を設定し、課題解決の手段・方法を立てる <input type="checkbox"/> 目的を明確にし、課題解決の手段・方法を立てる
	B2: 情報の収集	<input type="checkbox"/> 身近なところから課題に関する様々な情報を収集する	<input type="checkbox"/> 調査や資料集による情報の収集する	<input type="checkbox"/> 電子的な情報の収集（AND、ORなどの論理演算を用いた検索） <input type="checkbox"/> 調査や資料集による基本的な情報の収集の方法（質問・インタビュー等）	<input type="checkbox"/> 情報の収集方法 <input type="checkbox"/> 調査や資料集による基本的な情報の収集の方法（質問・インタビュー等）
	B3: 情報の分析	<input type="checkbox"/> 集めた情報を整理し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 簡単な線や図、表やグラフなどを用いて情報を整理する <input type="checkbox"/> 情報の大まか整理、分析、整理する	<input type="checkbox"/> 集めた情報を比較、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 観念を決定し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 集めた情報から抽出した特徴や関係性をもとに、新たな考えや仮説を立案する	<input type="checkbox"/> 集めた情報を比較、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 観念を決定し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 集めた情報から抽出した特徴や関係性をもとに、新たな考えや仮説を立案する	<input type="checkbox"/> 集めた情報を比較、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 観念を決定し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 集めた情報から抽出した特徴や関係性をもとに、新たな考えや仮説を立案する
	B4: 案の立案	<input type="checkbox"/> 集めた情報を整理し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 簡単な線や図、表やグラフなどを用いて情報を整理する <input type="checkbox"/> 情報の大まか整理、分析、整理する	<input type="checkbox"/> 集めた情報を比較、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 観念を決定し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 集めた情報から抽出した特徴や関係性をもとに、新たな考えや仮説を立案する	<input type="checkbox"/> 集めた情報を比較、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 観念を決定し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 集めた情報から抽出した特徴や関係性をもとに、新たな考えや仮説を立案する	<input type="checkbox"/> 集めた情報を比較、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 観念を決定し、整理し、整理し、整理する <input type="checkbox"/> 集めた情報から抽出した特徴や関係性をもとに、新たな考えや仮説を立案する
	B5: 振り返り改善	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える
C: 課題解決 課題を解決し、新たな課題を生み出し、問題解決・改善に向けて取り組むための基礎的な知識・技能	C1: 課題の発見・計画	<input type="checkbox"/> コンピュータの存在 <input type="checkbox"/> 身近な生活におけるコンピュータの活用	<input type="checkbox"/> 身近な生活におけるコンピュータの活用	<input type="checkbox"/> 社会におけるコンピュータの活用	<input type="checkbox"/> 身近な生活におけるコンピュータの活用 <input type="checkbox"/> 社会におけるコンピュータの活用
	C2: 情報の整理・計画	<input type="checkbox"/> 目的に合わせて自分なりに整理する	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する
	C3: 情報の分類・編集	<input type="checkbox"/> 大きな動きをいくつかの小さな動きに分けて整理することに基づく <input type="checkbox"/> 目的に合わせて、必要な要素を選ぶ	<input type="checkbox"/> 大きな動きをいくつかの小さな動きに分けて整理することに基づく <input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて、必要な要素を選ぶ	<input type="checkbox"/> 大きな動きをいくつかの小さな動きに分けて整理することに基づく <input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて、必要な要素を選ぶ	<input type="checkbox"/> 大きな動きをいくつかの小さな動きに分けて整理することに基づく <input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて、必要な要素を選ぶ
	C4: データの分類・傾向	<input type="checkbox"/> 事象の中に類似性や関係性があることに基づく	<input type="checkbox"/> 事象の中から類似性や関係性を見出す	<input type="checkbox"/> 事象の中から類似性や関係性を見出す	<input type="checkbox"/> 事象の中から類似性や関係性を見出す
	C5: 解決の手順	<input type="checkbox"/> 問題解決に手順があることに基づく	<input type="checkbox"/> 問題解決に向けた手順を立案・実行する	<input type="checkbox"/> 問題解決に向けた手順を立案・実行する	<input type="checkbox"/> 問題解決に向けた手順を立案・実行する
	C6: 分析・評価	<input type="checkbox"/> 正しいか正しいかどうかを判断することに基づく	<input type="checkbox"/> 問題解決の手段が適切かどうかを判断し、改善方法を考える	<input type="checkbox"/> 問題解決の手段が適切かどうかを判断し、改善方法を考える	<input type="checkbox"/> 問題解決の手段が適切かどうかを判断し、改善方法を考える
D: 課題解決 課題を解決し、新たな課題を生み出し、問題解決・改善に向けて取り組むための基礎的な知識・技能	D1: 課題を解決し、新たな課題を生み出す	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて自分なりに整理する <input type="checkbox"/> コンピュータなどを利用するなどの基本的なルール	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する <input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する <input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する	<input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する <input type="checkbox"/> 目的や課題に合わせて整理し、整理する
	D2: 課題を振り返り、改善する	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える	<input type="checkbox"/> 課題を振り返り、改善するための方法を考える

低・中・高学年・中学校のそれぞれの発達段階に応じた4分類（「活動スキル」「探究スキル」「プログラミング」「情報モラル・情報セキュリティ」）を体系的にまとめている。

各学校で年間指導計画に位置づけ、授業や校内研修等で活用されるよう、啓発をしていくとともに、完成後も毎年ブラッシュアップをしていく予定である。

また、春日部モデルと優れた授業実践をリンクさせていく。

事例2

Chromebook 活用研修会等の実施 希望研修



児童生徒だけでなく、教職員も個別最適な学びができる環境を整えている。

このほか、各校の情報教育推進者を中心とした「ICT管理研修会」「ICT活用研修会」を実施している。



社会教育課生涯学習担当指導主事を指導者として、「Chromebook 活用研修会」「プログラミング教育入門研修」「情報モラル教育研修会」等を希望する教員に実施している。

教員がタブレット端末の基本的な操作や授業で子供たちの学習に活用することができるアプリケーション等について研修し、指導力向上を図っている。

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「ICT を活用した個別最適な学びと

協働的な学びの一体的な充実を目指した実践」

蓮田市教育委員会・蓮田市立蓮田北小学校

事例1

○教科名 生活科

○単元名 「ありがとういっぱい」 1 学年

○身に付けたい力

- ・大型テレビを使って家庭でのお手伝いを振り返ると共に、他の児童のお手伝いの様子を知り、家の仕事に関心をもつこと。
- ・家の仕事を調べたり挑戦したりした様子を、動画を併用して言葉で伝えること。

○取組の工夫

- ・あらかじめ児童から集めておいたお手伝いの内容を担任が大型テレビに映し、クラスで共有した。
- ・保護者の協力のもと、お手伝いの実践を家庭で撮影していただいた。この動画をグループ内の報告で用いて、発表を聞いている児童も、話だけでなく動画でもお手伝いの内容を理解することができた。



事例2

○教科名 理科

○単元名 「風のはたらき」 3 学年

○身に付けたい力

- ・他の班の結果をリアルタイムで共有し、実験の検証に生かすこと。
- ・風の強さを変えて風車を動かした様子を動画で比較して考察し、自分の考えを表現すること。
- ・風の力の働きについてスタディ・ログを蓄積し、生活に生かそうとすること。

○取組の工夫

- ・実験結果を班ごとに Excel ファイルに入力し、Microsoft Teams で共有したことで、著しく結果が異なっていた班が再実験して検証することができた。
- ・実験結果を、Excel を使ってグラフに表したことで、強い風を風車に当てると物を持ち上げる力が高まることを、視覚的に分かりやすく理解することができた。
- ・QR コードを読み取っていつでも実験手順を確認することができるようにし、どの児童も正しく安全に実験をすることができた。



事例3

○教科名 総合的な学習の時間

○単元名 「優しさを広げよう」4学年

○身に付けたい力

- ・福祉活動やユニバーサルデザインについて、Microsoft Forms を使用して同じような興味をもった仲間にグループ分けし、自ら課題を設定して調べること。
- ・自ら設定した課題について調べたことを PowerPoint でまとめ、Microsoft Teams を使って共有し、友達とアドバイスをし合いながらまとめ方や表現方法を工夫すること。

○取組の工夫

- ・一人一人が調べ学習の課題を設定する際に、体験活動や施設との交流後に Microsoft Forms を使用し、興味をもったことについてアンケートを取った。集計結果をもとにグループを作って調べ学習を進めた。
- ・調べたことについて、PowerPoint を使ってまとめ、クラスで発表した。作成途中の PowerPoint は、友達も見られるようにし、アドバイスをし合いながら学習を進めることができた。



事例4

○教科名 算数

○単元名 「面積の求め方を考えよう」5学年

○身に付けたい力

- ・デジタル教科書を使って図形を操作し、いろいろな面積の求め方を考えること。
- ・大型テレビを使って自分の考えを説明し、他の児童と多面的に求め方を検討し表現すること。

○取組の工夫

- ・デジタル教科書を活用して、平行四辺形などの図形を切ったり動かしたりして画面上で操作することで、面積の求め方を考える際に役立てることができた。
- ・平行四辺形などの図形の求め方をグループや全体で発表し合う場面で、大型テレビにデジタル教科書のシミュレーション機能を表示し、画面上で操作しながら分かりやすく説明することができた。



『個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実』を目指した取組事例

越谷市教育委員会

事例1

既習事項を生かしたパンフレット作成

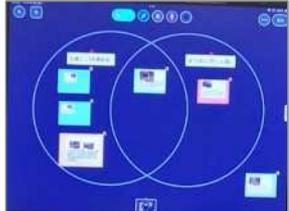
【個】…個別最適な学び

【協】…協働的な学び

学 年	小学校 第6学年	教 科	国語科「鳥獣戯画」
本時の目標	表現の工夫を捉えて読み、それを生かして日本文化に関するデジタルパンフレットを書くことができる。		
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した取組の工夫			
<ul style="list-style-type: none"> 自分で選択した場面について、鳥獣戯画の解説文を書かせた。その際、書き表し方の工夫点を確認できるようにし、視点を明確にして読み手を意識した説明文を書かせた。【個】 ロイロノートにとりためておいた前時までの学習内容（書き表し方の工夫点など）を必要に応じて確認できるようにした。【個】 ロイロノートの共有ノートを使って作成した解説文を見合わせ、作品をさらによいものに推敲させた。【協】 			
【個】 選択した場面の解説文作成		【個】 前時までの内容を確認	【協】 他の人の考えを共有
			

事例2

ストリートビューや思考ツールを活用した整理・分析

学 年	小学校 第3学年	教 科	総合的な学習の時間
本時の目標	交通安全や防犯に関する視点を持ち、今までの学習や経験をもとにして、学区の危険箇所を友達と話し合い、予想することができる。		
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した取組の工夫			
<ul style="list-style-type: none"> 自分で選択した地区について、ストリートビューや地図といった各々の方法で危険箇所を探させた。危険となる理由を写真に書き込む児童もいれば、文章に書き起こす児童もいた。【個】 危険箇所とその理由を同じ地区の班で持ち寄り、「交通安全」と「防犯」の視点で話し合い、思考ツールを使って整理・分析させた。【協】 調べた地域ごとの特徴を話し合いのもとに決めさせた後、地図や整理した思考ツールを使って全体発表し学区の危険箇所について共有した。【協】 			
【個】 ICTを使った探検		【個】 写真への理由の書き込み	【協】 話し合いで整理・分析
【協】 思考ツールの活用			
			

事例3

動画の撮影や音声の録音による課題把握

学 年	中学校 第3学年	教 科	音楽科
本時の目標	音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、歌詞の内容や曲想を味わって音楽表現を工夫している。		
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した取組の工夫			
<ul style="list-style-type: none"> 全体合唱の様子を撮影し、その動画を視聴しながら課題に沿って各自で楽譜にメモを取らせた。動画を再視聴したり歌声を録音したりするなど、それぞれの方法で個別練習をさせた。【個】 各パートで、音楽を形づくる要素や歌詞の内容や曲想を視点として個別練習で考えたことも含めて課題について話し合わせ、課題を意識してパート練習をさせた。【協】 授業の最後に、もう一度全員の合唱を撮影し、1回目の合唱と聴き比べて、歌声、表現力、姿勢などについて振り返らせ、次回の課題へとつなげた。【協】 			
<p>合唱練習の様子</p>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <p>必要に応じて動画の再視聴や録音をして課題に向き合った練習をする。</p> </div>			

事例4

生徒が学習方法を選択する複線型の学習

学 年	中学校 第1学年	教 科	数学科「正多面体」
本時の目標	共通点や違いを見出し、正多面体の定義や基本的な図形の性質に基づいて他の性質について説明することができる。		
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した取組の工夫			
<ul style="list-style-type: none"> 個人で学習を進める生徒と複数名のグループで学習を進める生徒、各々が学習方法を選択する複線型の授業を行った。【個】【協】 図形シミュレーターや模型を用いて、正多面体やデルタ多面体の観察を行い、ヒントカードも用いて試行錯誤しながら課題解決を図らせた。【個】 学び合いの時間を設け、根拠を明らかにし筋道立てて伝え合う活動を1時間内で複数回行うことで、自己解決が困難な生徒への助けにしたり表現力を高めたりした。【協】 			
<p>【個】【協】 複線型の授業 【個】 図形シミュレーターや模型 【協】 学び合い</p>			
			

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例



「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

八潮市教育委員会・八潮市立潮止小学校

事例1

○教科名 中学校「数学」 ○単元名 比例と反比例

○身に付けたい力

自分自身の既習事項の定着度合いや学習内容の理解を適切に把握し、それに合わせた学習計画を立て、自分のペースで学習を進めることができる。

○取組の工夫 ICT を活用した単元内自由進度型学習

小中一貫教育推進検討部会「ICT 部会」では、Google Workspace for Education の各種コンテンツを活用した学びの一つとして、「ICT を活用した単元内自由進度型学習」について研究しました。

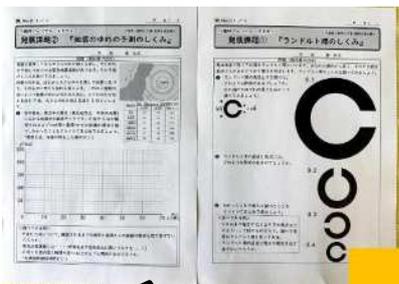
その成果として、部会員の代表者が授業を公開し、協議会では活発な意見交換を行い、大学の教授からご指導をいただきながら研究を深めました。



友達と協働

教師に質問

個人で解決



到達した生徒は、発展課題に取り組みます。

クラスの進捗状況		本日 16時間目		学習済みの内容																				
氏名	今日の学習内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
生徒A	発展課題																							
生徒B	プリントづくり																							
生徒C	発展課題																							
生徒D	発展課題と協力																							
生徒E	比内と比外の関係																							
生徒F	電子黒板の活用																							
生徒G	電子黒板の活用																							
生徒H	発展課題																							
生徒I	発展課題																							
生徒J	発展課題																							
生徒K	発展課題																							
生徒L	発展課題																							

教室の前の電子黒板には、生徒の学習の進捗状況がリアルタイムで一覧にして表示されています。学習を進める上で分からないことがあったら、先に進んでいる友達を見つけて教えてもらうという姿も見られました。クラウドの効果的な使い方です。【スプレッドシート】

本時では、各自で設定した課題に向けて、教科書・解説動画を駆使して個人で学びを進めたり、他者と協働して学びを進めたりしました。理解度を確かめるための「到達度テスト」や習熟度に応じたワークシートを用紙するなど学習材を工夫することで、生徒一人一人が必要な学び方を考え、選択し、一生懸命学習に取り組むことができました。なお、本市では、単元内自由進度型学習は、部会で試行的に実施している段階です。

事例2

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

八潮市立潮止小学校

本校が考える算数科の「個別最適な学び」と「協働的な学び」

	本校の解釈	国の方針
指導の個別化	共通の目標に向かって、児童が自ら最適だと考える方法で課題解決を図る。(自己選択)	共通の目標があり、自分に合ったペースで学習する。
学習の個性化	児童が自分で決める要素を多くする。(自己決定)	自分で目標や学び方を決める。
協働的な学び	他者と学ぶ 他者から学ぶ。	他者の力を借りて、自分や集団の力を高める。

各教科の中で「指導の個別化」と「学習の個性化」の考え方を明確にわかるために・・・

指導の個別化

- ・児童が多様な方法で課題解決に向かえるよう、「自己決定」できる要素を教師が提供する。
- ・児童にあえて「困り感」を与え、学習への意欲を引き出すとともに思考の幅を広げる。

学習の個性化

具体的な事例(第1学年:算数・どちらがおおい?)

◎目 標 身の回りにあるものの体積を、間接比較で比べられる理由を考え、説明することができる。
【思考力、判断力、表現力等】

つかむ
見通す

(直接比較で比べられない場合・・・)
水のりょうをくらべるには、どうすればよいのだろうか?

- ・べつ入れものにいれればよいかもしれない。



児童が思考する余地を残す!

考える



様々な種類の入れ物を準備し、どれを使えば比べられるのかを考える。

【学習の個性化】

- ・児童が自分たちの考えをもとに容器を選び、間接比較で水の量を比較できるようにする。



教師が適度に関わりながら、児童は失敗を繰り返して正しい方法を発見できるようにする。

【協働的な学び】

- ・グループで意見を出し合っ、様々な方法を試しながら、正しい比べ方を発見する。



どの種類の入れ物を使っても、結果は同じになることを確かめる。

同じ容器で比べればよい!

「統合的に考える」=算数科のキーワード!

深める

まとめる

(直接比較で比べられない場合・・・)
水のりょうをくらべるには、おなじ大きさの入れ物を使えばよい。

八潮スタンダードの流れ

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「主体的に学びに向かい対話や協働クラウドの活用によって思考を
深め自分の成長を実感する児童の育成」

久喜市教育委員会・久喜市立江面小学校

本校では、研究主題を上記のとおりとし、仮説を、

友だちとの対話や協働を軸にした学びを、クラウドを活用することで促進していけば、児童は学ぶことの楽しさを味わい、成長を実感し、生涯にわたって学び続ける人になるだろう。

とし、研究を進めてまいりました。2年間の取組の一部をご紹介します。

1 事例1 楽しい学びづくり(クラウドの活用)

本校が目指す「楽しい学び」＝学習中や学習後に、その教科等がもつ楽しさや満足感、達成感等を感じ、「もっと学びたい」と思う学び



- ・タブレットや大型提示装置を活用し、学習したことを共有したり、プレゼンの際に、自分の作品を提示して、友達に紹介することができました。
- ・自分が学んだ内容を友達と共有することができるので達成感が得られ、学習にも意欲が高まります。



- ・タブレットを活用した学習を円滑に展開するため、1年生のうちから積極的にタブレット学習に取り組みせ、タイピング等のスキルを高めていきました。
- ・今ではタブレットを使っていろいろな学習に取り組むことができるようになりました。

2 事例2 学びを楽しむ児童の育成(対話や協働)



(児童の声より)

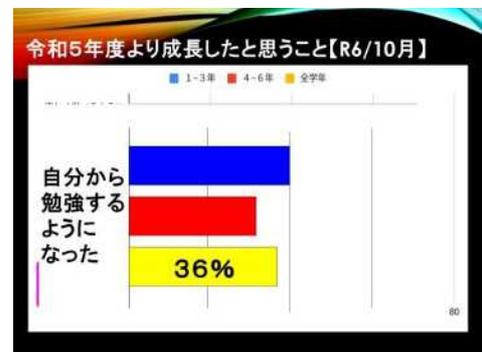
- ・自分は持っていなかったものを知ることができるようになりました。
- ・相手が知らないことを教えてもらえます。
- ・友人との仲がさらに深まります。
- ・意見を交換することで、更に考えが深まります。

3 成果と課題

(1) 成果

・「自ら勉強するようになった」「楽しく学べるようになった」児童の割合が増え、自分から意欲的に学習に取り組む児童が増えました。

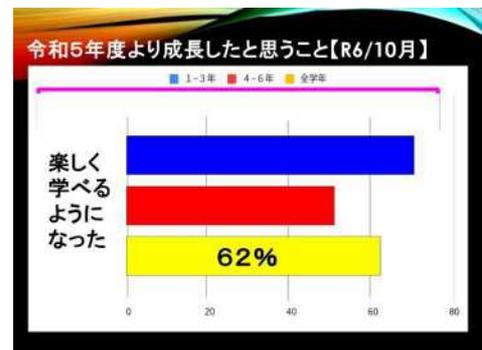
・クラウドを活用することで、友達と自由な交流、学び合いができるようになったことで、さらに友達との仲が深まったり、学習することが楽しくなったりしたと感じる子が増えました。



「楽しい学び」をつくる条件 **不易!**

★クラウドの活用

- ① 友だちと自由な交流、学び合いができること
- ② 単元の目標（できるように成って欲しいこと）を明確に示すこと
- ③ 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、学
⇒教師一人一人が、児童の学びを見取るスキルやAIやICT活用のスキルを磨く。
- ④ 児童同士で深い学び合いができるように、教
⇒個人・組織での教材研究や環境整備を進めると共に、楽しい学校（学級）づくりのための生徒指導の充実を図る。



(2) 課題

- ・自主学習中心にしたことで、学習量が減った児童がいるのも事実。すべての児童が自主的に学習量を増やしていくための手立てが必要。
- ・対話によって学びを深めるためには、対話スキルの向上が必要。効果的に対話スキルを向上させる手立てが必要。